

## 原告側専門家証人の6人



池田修一 信州大学**名誉教授**



横田俊平 横浜市立大学**名誉教授**



高橋幸利 静岡神経てんかんセンター**名誉院長**



高嶋博 鹿児島大学医学部脳神経内科**教授**



鳥越俊彦 札幌医科大学病理第一講座**教授**



椿広計 統計数理研究所**名誉教授・所長**

被告側証人のうち  
金銭授受が法廷で明らかになったのは

三木健司(大阪行岡医療大学・整形外科)

MSDから

訴訟関連業務委託費

合計2300万円以上

本郷道夫(東北大名誉教授・総合診療科)

MSDから

訴訟関連業務委託費

合計1200万円以上

うち600万は透明性ガイドラインでも非開示

# 専門家証人4人の診察体験

池田修一 信州大学名誉教授

神経難病等の専門家、厚労省副反応治療研究班班長

200名を診察 87名をHPVワクチン副反応と診断

横田俊平 横浜市立大学名誉教授

小児リウマチ、膠原病、若年性線維筋痛症等の専門家  
小児科学会会長も。。

約150名を診察

高橋幸利 静岡神経てんかんセンター名誉院長

小児の難治性てんかん、神経難病等の専門家

60～70名を診察

高嶋博 鹿児島大学教授

自己免疫性脳炎・脳症等の専門家

65名を診察

鳥越俊彦 札幌医科大学教授

椿広計 統計数理研究所所長・名誉教授

# 臨床家でこそその裁判での証言

- **共通の特徴的な病態**
  - 多様な症状、重層化、時とともに変化
  - 既知の疾患では説明しつくせない
- **自己免疫性の神経障害**
  - 自己抗体の検出など客観的所見
  - 免疫治療で改善がみられる
  - ※ 心因性(なまけ病・気のせい)ではない
- **接種状況と患者発生の時間的相関がある**

# 多様な症状が重層化し、変化する

## 感覚系障害

頭痛，四肢・全身の疼痛，光過敏，音過敏，嗅覚障害，激しい生理痛等

## 運動系障害

不随意運動，脱力，筋力低下，けいれん，歩行障害等

## 認知・情動系障害

倦怠感，集中力低下，学習障害，記憶障害，相貌認知障害等

## 自律神経・内分泌系障害

発熱，月経異常，過呼吸，睡眠障害，ナルコレプシー，発汗過多等

# 既知の疾患では説明できない

➤池田修一名誉教授

CRPS+POTS+高次脳機能障害

「子宮頸がんワクチン接種後症候群」

➤横田俊平名誉教授

線維筋痛症を疑ったが違うと結論

「HPVワクチン関連神経免疫異常症候群:HANS」

➤高橋幸利名誉院長

「わたしが知る限り同じような患者群はない」

➤高嶋博教授

自己免疫脳症のびまん性脳障害の特徴がある

末梢神経障害の併存、年齢層が特殊

# 自己免疫性の神経障害 (その証拠は)

## ➤自己抗体検査

自律神経や認知機能の働きを阻害する自己が有意に増加

高橋名誉教授. NMDA型グルタミン酸受容体抗体 (脳脊髄液)

池田名誉教授・高嶋教授  $\alpha$ 1アドレナリン受容体抗体等(血清)

## ➤SPECT検査

大脳辺縁系、脳幹部、視床下部等の血流が有意に低下

池田名誉教授・高嶋教授・高橋名誉教授

## ➤免疫治療

免疫抑制剤・血漿交換療法で一定の効果

## 免疫学者(鳥越俊彦教授)の証言

日本がん免疫学会理事長

- 病態の特徴と検査所見は自己免疫疾患を示す
- ワクチンが自己免疫疾患を引き起こすことは既知  
(例えば、ギランバレー症候群・ADEM)
- HPVワクチンの成分から免疫学的に説明可能



HPVワクチンが原因と考えるのが合理的

# 危険なHPVワクチンの成分

## ➤ 免疫を過剰に活性化

抗原であるL1-VLPに強い免疫原性あり(実験論文)

アジュバントでさらに増強

サーバリックス : AS04 自然感染の10.5~27倍

ガーダシル : AAHS アジュバントなしの100倍

## ➤ 分子相同性

L1-VLPとヒトのアミノ酸配列の部分一致多数



「免疫寛容」 の破綻(自己免疫)

# 統計学者(椿広計名誉教授)の証言

応用統計学の第一人者  
臨床試験の統計解析ガイドライン原案作成に参画  
中央薬事審議会委員、薬事・食品衛生審議会委員

- 「有意差なし=因果関係なし」とするのは「統計の誤用」  
(「差がある」ことの証明ができない、だけで  
「差がない」ことの証明にはならない)
- 国内外の調査は危険性のシグナルを示している